

# 2024年3月期第2四半期（中間期） 決算説明資料

---

---



## 【連結中間決算の概要】

(百万円)

項目	2022/9 実績	2023/9 公表計数	2023/9 実績	2022/9比		公表比
				増減額	増減率	
経常収益	11,423	11,500	11,530	+107	+0.9%	+30
経常利益	1,249	900	991	△257	△20.6%	+91
中間純利益	875	600	704	△171	△19.5%	+104

※連結中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益。

### (連結中間決算のポイント)

- 連結経常収益は、有価証券利息配当金の増加等により、前年同期比0.9%増 (+107百万円) の11,530百万円
- 連結経常利益は、不良債権処理費用の増加等により、前年同期比20.6%減 (△257百万円) の991百万円と減益
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比19.5%減 (△171百万円) の704百万円と減益

# 単体決算概要



- 経常収益は、貸出金利低下により貸出金利息は減少したものの、有価証券利息の増加や役員取引等収益が増加したこと等により、前年同期比 125百万円増加(+1.4%)の 8,599百万円
- 経常利益は、与信関連費用の増加や株式等関係損益が減少したこと等により、前年同期比 231百万円減少(△20.3%)の 904百万円

## 【損益状況(単体)】

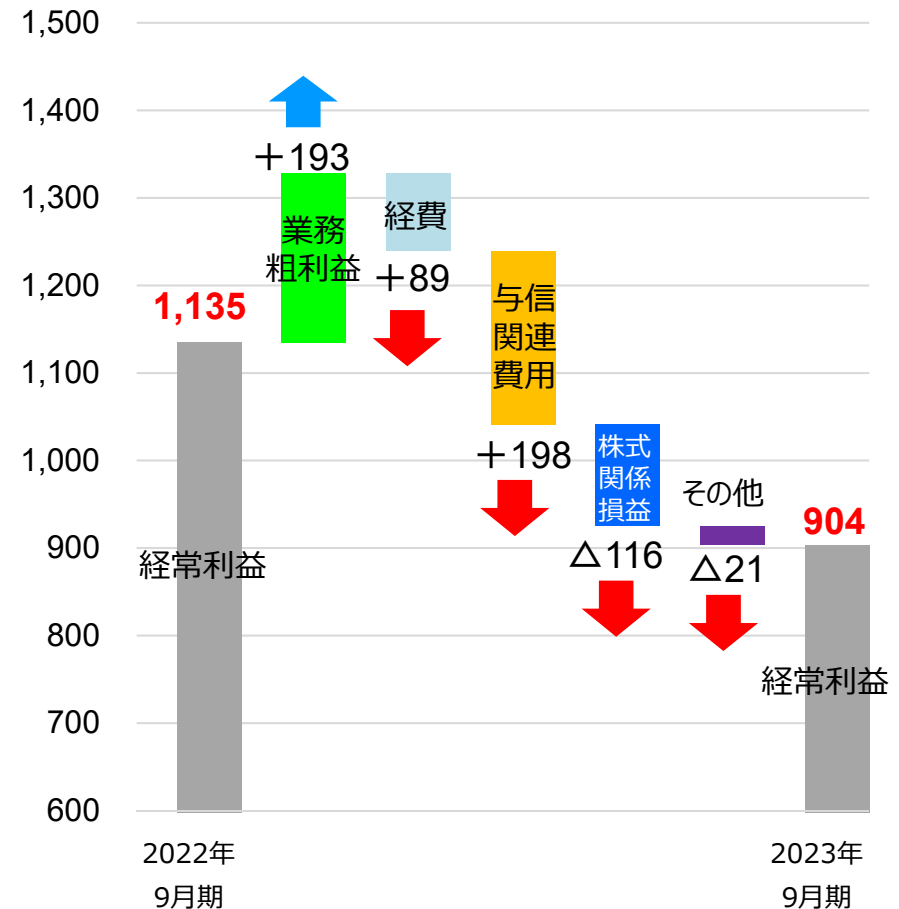
(百万円)

	2022年 9月期	2023年 9月期	前年同期比
経常収益	8,473	8,599	+125
業務粗利益	6,641	6,834	+193
うち資金利益	6,321	6,591	+270
うち役員取引等利益	317	403	+86
経費	5,411	5,500	+89
コア業務純益	1,233	1,376	+143
除く投信解約損益	1,248	1,356	+108
一般貸倒引当金繰入額①	50	143	+93
業務純益	1,180	1,190	+9
臨時損益	△44	△285	△241
うち不良債権処理額②	156	261	+105
うち株式等関係損益	102	△13	△116
経常利益	1,135	904	△231
当期純利益	818	664	△153

## 【経常利益の増減要因】

(百万円)

【単体】



与信関連費用 (①+②)	206	405	+198
--------------	-----	-----	------

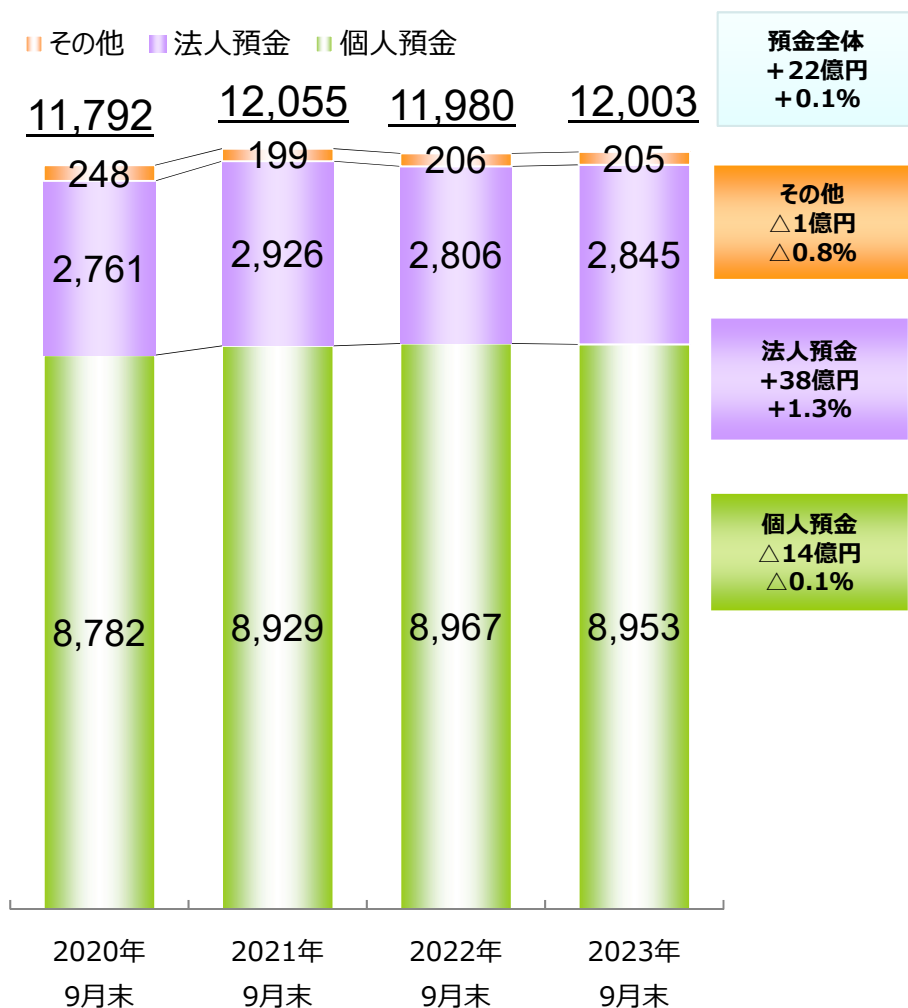
# 預金残高(単体)／預り資産残高(単体)



- 預金は、個人預金は減少したものの、法人預金が増加したこと等により、2022年9月末比22億円増加(+0.1%)の1兆2,003億円
- 預り資産残高(預金含む)は、個人年金保険や投資信託の残高増加等により、2022年9月末比114億円増加(+0.8%)の1兆3,678億円

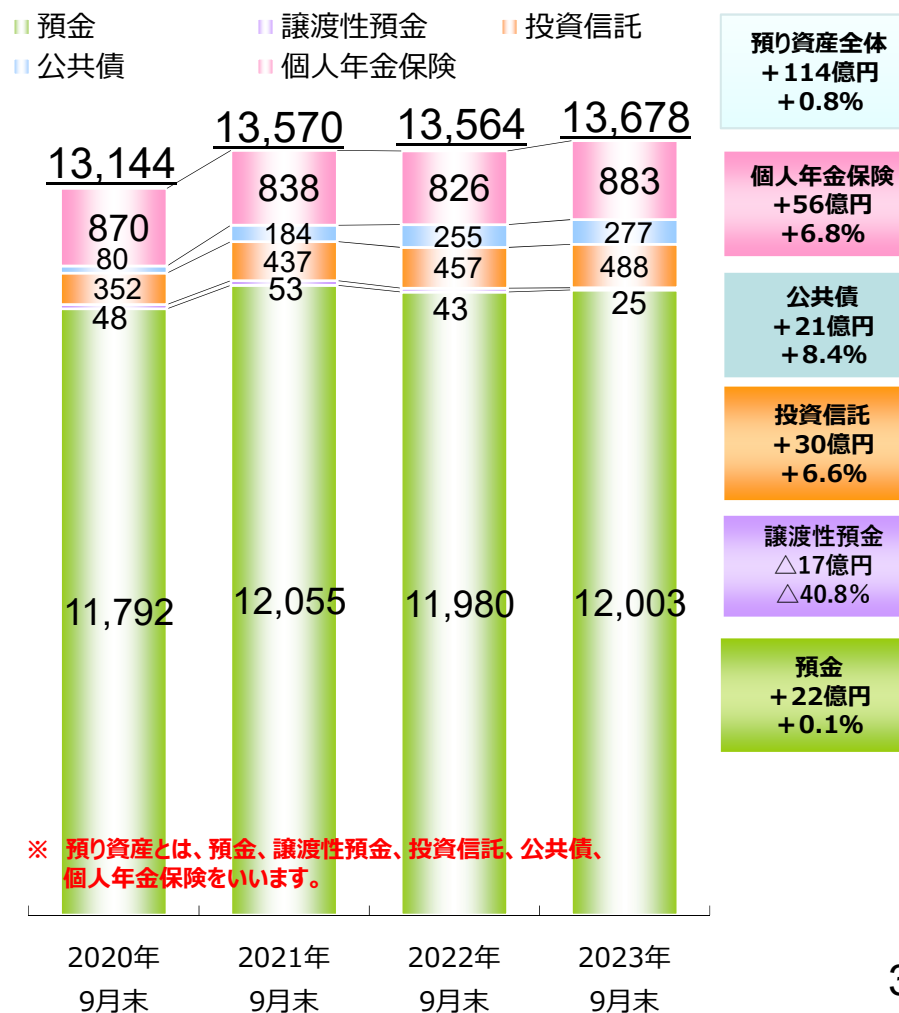
## 【預金残高の推移(単体)】

(億円)



## 【預り資産残高の推移(単体)】

(億円)



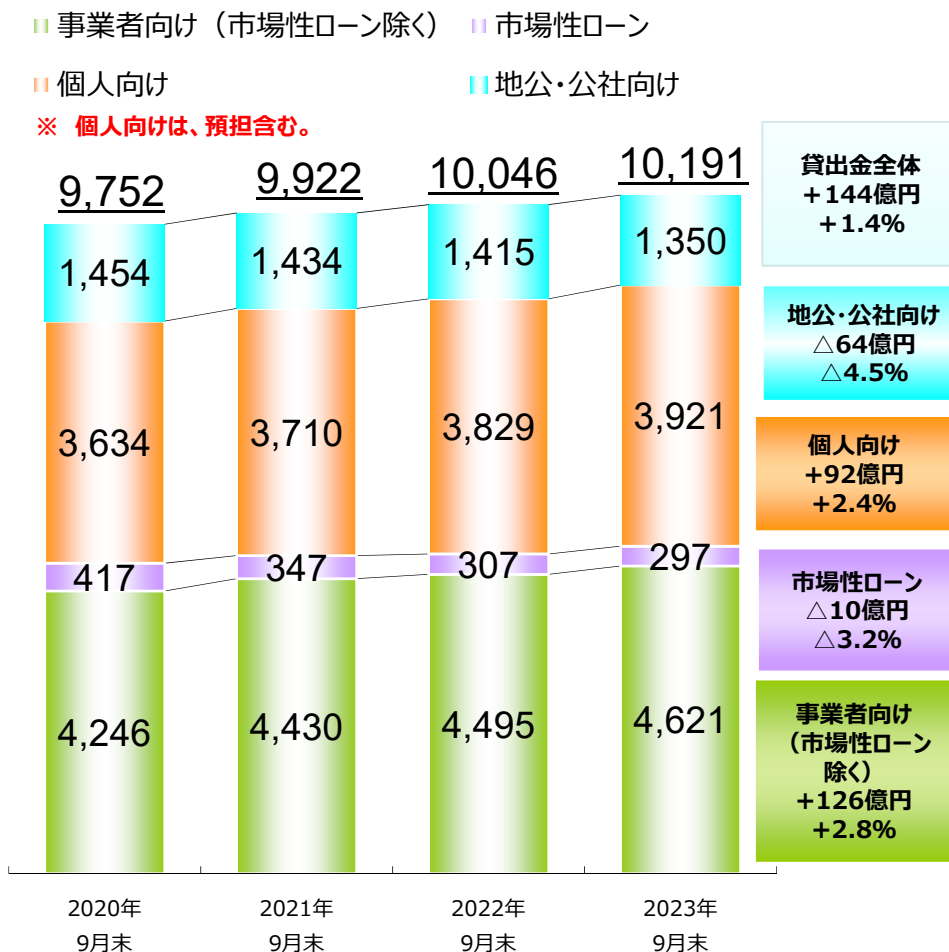
# 貸出金残高(単体)／事業者向け残高・個人ローン残高(単体)



- 全体の貸出金残高は、中小企業向け貸出や住宅ローンの増加を主因として、2022年9月末比 144億円増加(+1.4%)の1兆191億円
- 事業者向け残高(市場性ローン除く)は、中小企業向け残高が増加し、2022年9月比 126億円(+2.8%)の4,621億円
- 個人ローン残高は、住宅ローンが増加し、2022年9月末比 92億円増加(+2.4%)の3,906億円

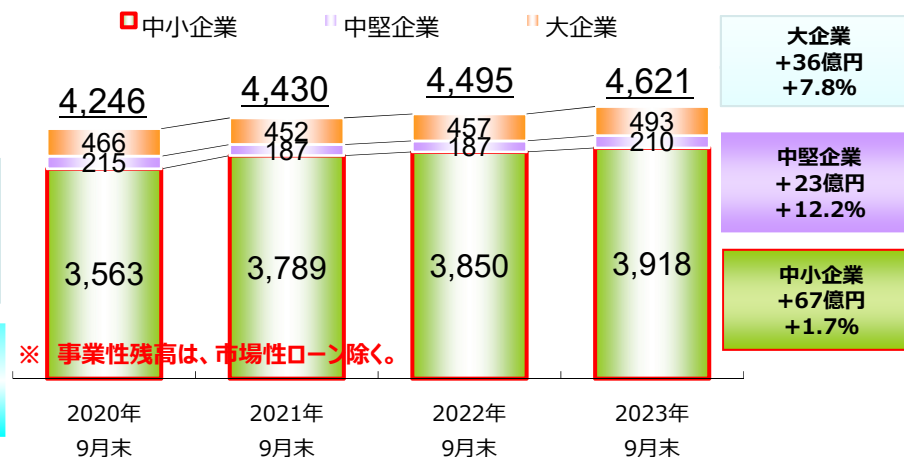
## 【貸出金残高の推移(単体)】

(億円)



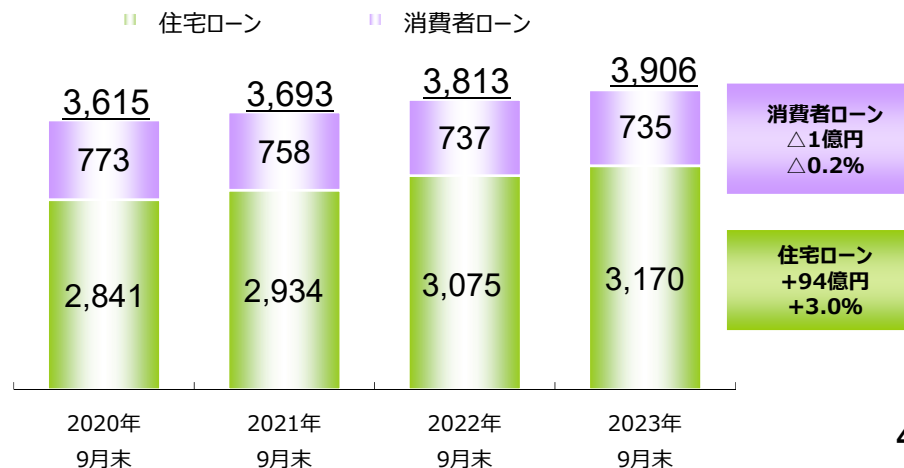
## 【事業者向け残高の推移(単体)】

(億円)



## 【個人ローン残高の推移(単体)】

(億円)

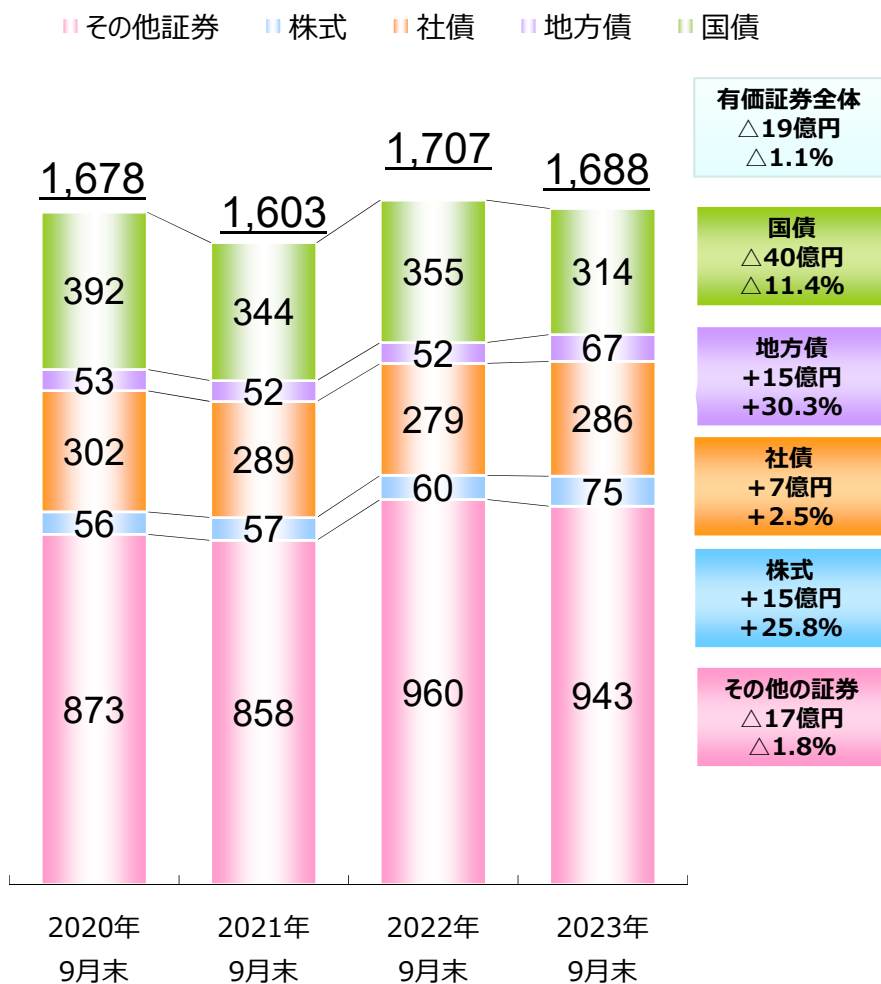


# 有価証券残高(単体)／有価証券評価損益(単体)

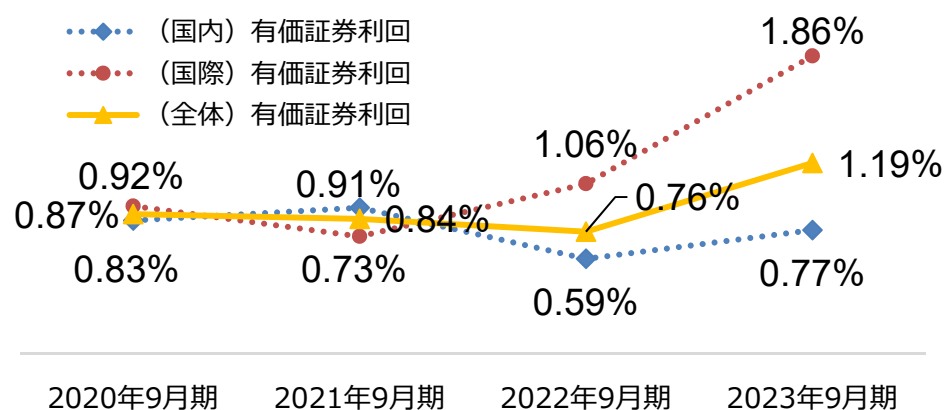


- 有価証券残高は、今後の日銀政策変更による金利上昇の影響を受ける国債を売却したこと等から、2022年9月末比 19億円減少 (△1.1%)の 1,688億円
- 有価証券利回りは、外国証券利息の増加などにより、2022年9月比 0.43%上昇の1.19%
- 有価証券評価損益は、株式評価益の増加により、2023年3月末比 584百万円増加の +302百万円

## 【有価証券残高の推移(単体)】 (億円)



## 【有価証券利回の推移(単体)】



## 【有価証券評価損益の状況(単体)】 (百万円)

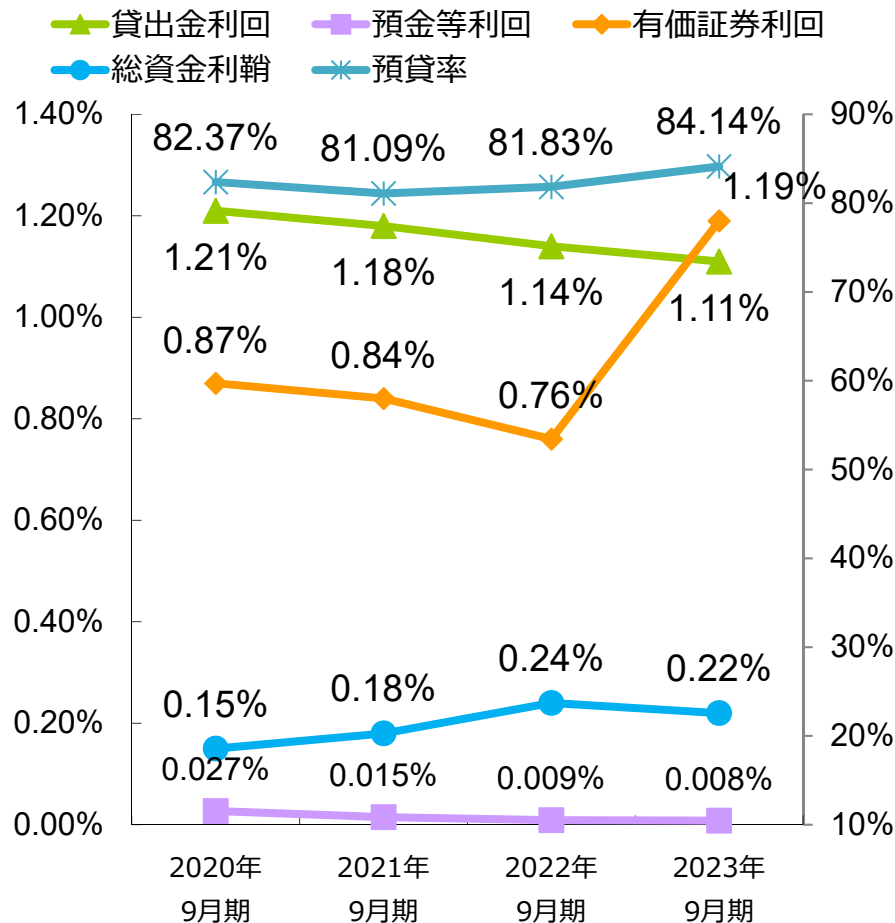
	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末	2023年3月末比
<b>合計</b>	<b>△ 49</b>	<b>△ 281</b>	<b>302</b>	<b>584</b>
満期保有目的	364	307	162	△ 144
その他の有価証券	△ 414	△ 589	139	728
株式	2,500	2,353	3,610	1,257
債券	△ 267	△ 223	△ 676	△ 453
その他	△ 2,647	△ 2,718	△ 2,793	△ 75

# 諸利回(単体)／経費・コアOHR(単体)

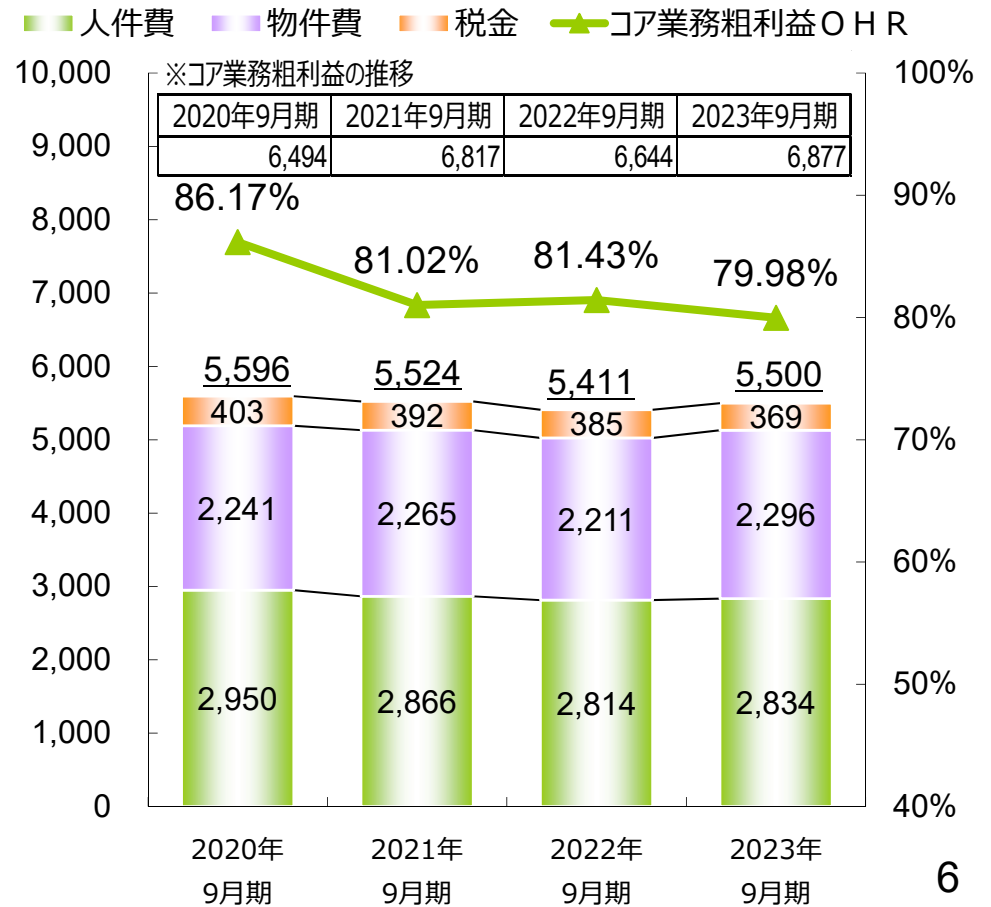


- 貸出金利回は、2022年9月比 0.03%低下し、1.11%
- 預金等利回は、2022年9月比0.001%低下し、0.008%
- 総資金利鞘は、2022年9月比 0.02%低下し、0.22%
- 預貸率は、2022年9月末比 2.31%上昇し、84.14%
- コアOHRは、業務粗利益が増加したことなどにより、2022年9月比 1.45%低下の79.98%

## 【諸利回の推移(単体)】



## 【経費・コアOHRの推移(単体)】 (百万円)

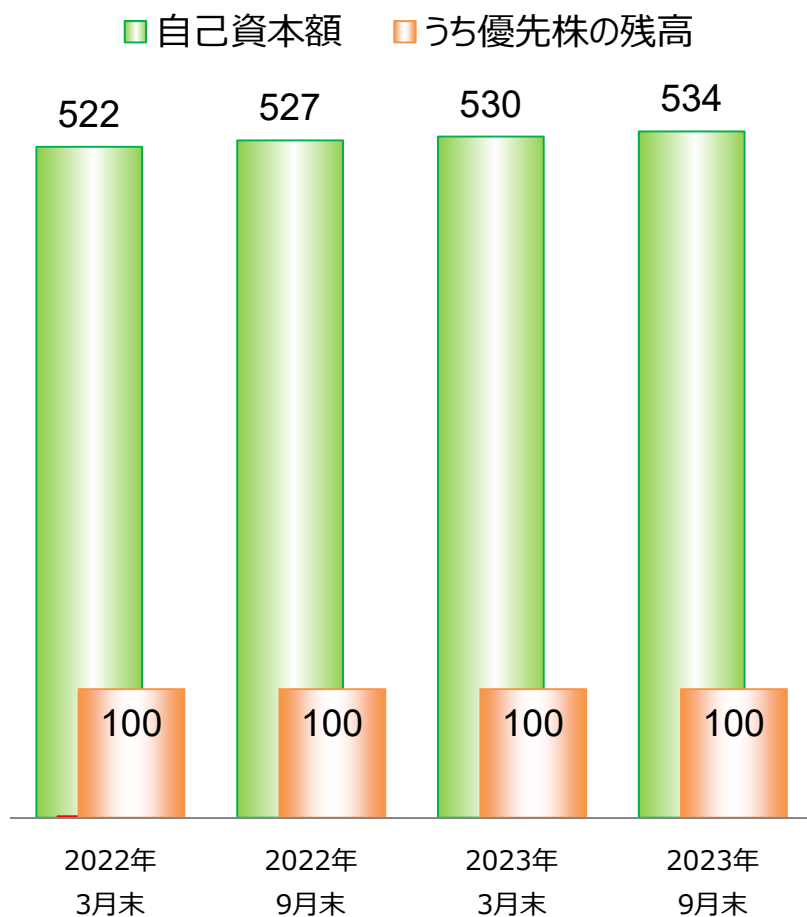


# 自己資本比率（単体）

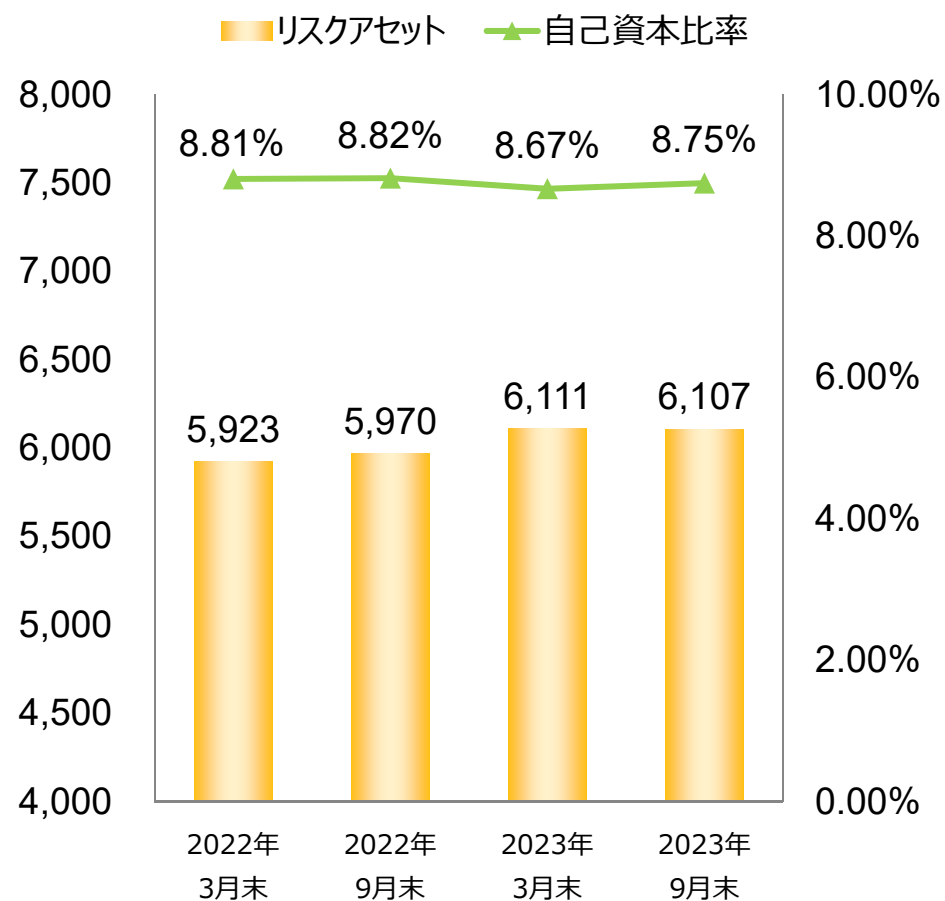


- 自己資本比率（単体）は、リスクアセットはほぼ横ばいで推移し、当期純利益の増加によるコア資本の積み増しにより2023年3月末比 0.08%上昇し8.75%

## 【自己資本の推移(単体)】 (億円)



## 【自己資本比率・リスクアセットの推移(単体)】 (億円)





# 金融再生法開示債権(単体)／保全率(単体)



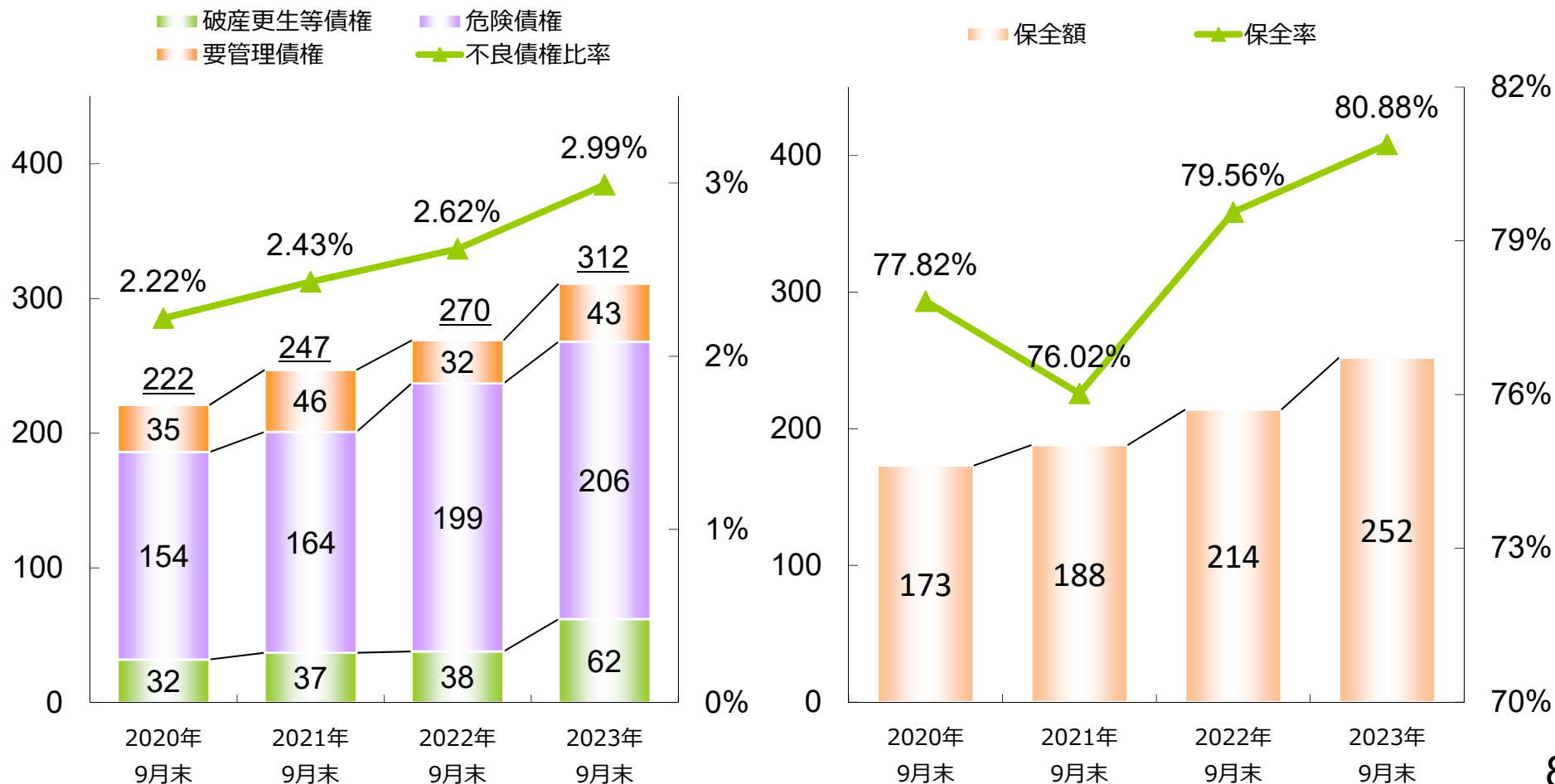
- 金融再生法開示債権は、資金繰り支援に積極的に取り組む中、2022年9月末比 42億円増加 (+15.6%) の312億円
- 不良債権比率（金融再生法開示債権比率）は2022年9月末比 +0.37%上昇の2.99%
- 保全率は、2022年9月末比 1.32%上昇の80.88%と高い水準を維持。

## 【金融再生法開示債権(単体)】

(億円)

## 【保全率の推移(単体)】

(億円)



本社所在地	岡山県岡山市北区番町2丁目3番4号
設立年月日	1931年（昭和6年）11月9日
資本金	143億1千万円
総資産	1兆2,990億円
預り資産残高	1兆3,678億円（うち預金残高 1兆2,003億円）
貸出金残高	10,191億円
社員数	781名（嘱託・パート社員を除く）
店舗数	61カ店、住宅ローンセンター2カ所、ビジネスサポートプラザ1カ所
上場取引所	東証スタンダード（証券コード 8542）

※ 計数は単体、2023年9月末時点

株式会社トマト銀行 経営企画部

Tel : 086-800-1830

Fax : 086-224-0207



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比等異なる可能性があることにご注意ください。